

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 駅利用者の利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに西口を開設し、自由通路及び駅へのアクセス道路を整備することにより自動車交通の分散化を図る。 ・子供から高齢者及び身障者などにやさしく、誰もが安心して安全に利用できるようバリアフリー化に取り組む。 ・駅は多くの利用者にとって町の玄関であるため、駅舎及び自由通路等関連する施設整備に併せてイメージアップを図る。 	<p>《基幹事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男衾駅東西自由通路、駐輪場(地域生活基盤整備)、公衆トイレ(高質空間形成施設) 3・4・23男衾駅西口通り線、3・4・22男衾駅東口通り線 <p>《提案事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男衾駅舎築造
<p>整備方針2: 安心して暮らせる住環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適性ととも安心して生活できる安全性・防災性の高い市街地環境の創出が求められており、誰もが安全で安心して利用する都市基盤施設の整備を図る。 ・生活する場において、防災性の高い都市基盤整備(ライフライン等)を行い、突然の自然災害等に対しても安全で安心して暮らせるまちづくりをめざす。 ・美しい都市景観の形成に配慮し、自然と共生による心の豊かさ、ゆとりやうるおいを感じられるような、自然環境(田園風景・親水空間)と調和するアメニティの高い街並み景観の形成に資するまちづくりを目指す。 	<p>《基幹事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町道4163号線外(道路) <p>《提案事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明神川準用河川整備
<p>その他</p>	
<p>○男衾駅周辺地区のまちづくり</p> <p>本地区の健全なまちづくりを推進するため、平成16年に地元住民を主体とする「男衾駅周辺地区まちづくり協議会」が発足した。協議会からは、土地区画整理事業に対する抵抗感が強く、現況基盤を生かした線の整備手法が提案されている。町では協議会の提案を受け、平成14年に決定した都市計画を見直し、現地形を生かし、事業コストが少なく、早期整備が可能な計画を予定している。</p>	